

授業科目 社会調査

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	社会
鈴木 未来		開講時期	後期	必修・選択	選択
		単位数	2	時間数	30
【概要・一般目標：G10】 保健・医療・福祉の現場における社会調査の実施が、多職種の情報の共有にとって有効であることを理解する。その上で、調査設計の手法や分析方法および調査結果の活用法を修得する。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 社会調査の意味と意義について説明する 2. 社会調査の実施に向けた調査設計と分析を実施する 3. 社会調査の倫理を述べる					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	イントロダクション 社会調査とは			1	講義
2	社会調査の種類とその特徴 1（質的調査法）			1, 3	講義
3	社会調査の種類とその特徴 2（量的調査法）			1, 3	講義
4	実査にあたっての準備 1（問題意識と仮説、文献研究）			2, 3	講義
5	実査にあたっての準備 2（調査法の選択、対象者の選定）			2, 3	講義
6	調査票の作成 1－基本項目と調査種類ごとの項目			2	講義・ディスカッション
7	調査票の作成 2－言葉の選択、事柄の絞込み、レイアウト			2	講義・ディスカッション
8	社会調査の現場の実際 1－調査設計			2	講義
9	社会調査の現場の実際 2－聴き取り調査			2	講義
10	調査データの整理・集計 1－エディティング、コーディング、データ・クリーニング			2	講義
11	調査データの整理・集計 2－単純集計と図表化			2	講義
12	調査データの整理・集計 3－母集団と探索的分析（ t 検定）			2	講義
13	調査データの整理・集計 4－質的な変数の関連を調べる（ χ^2 乗検定）			2	講義
14	調査データの整理・集計 5－量的な変数の関連を調べる（相関係数）			2	講義
15	社会調査における倫理			3	講義
【使用図書】		<書名>		<著者名>	<発行所> <発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		ソーシャルワーカーのための社会福祉調査法		平山 尚、武田 丈、 呉 裁喜 他	ミネルヴァ書房 2003・2,940円
		社会福祉調査入門		畠中宗一、木村直子	ミネルヴァ書房 2004・2,310円
その他の資料					
【評価方法】			【履修上の留意点】		
レポート（3回）と毎回の出席を点数化する			それぞれの回の内容は連続しているため、連続出席が望まれる。欠席の場合は、参考書等で当該項目の知識を各自自習した上で授業に臨んでもらいたい。		